

おいしいミカン いかが？

浜松湖北高生 東区のこども園で販売



ミカンやパウンドケーキを販売する生徒たち＝浜松市東区のおそびこども園浜松で

浜松湖北高校（浜松市北区）の農業科と商業科の生徒八人が二十五日、校内の農園で栽培したミカンなどを東区の認定こども園「あそびこども園浜松」で保護者たちに販売した。

同校では例年、ミカンを校内や地元のドラッグストアなどで販売してきた。ミカンをあまり食べない若い世代においしさを伝えようと、二十一～三十代の保護者が送り迎えに来るこども園に注目。

社会貢献活動に力を入れている燃料販売会社「エネジン」（中区）の仲介で出

張販売が実現した。

生徒たちは、三種類のミカンが入った百五十袋を用意。米粉を使ったオリジナル商品のパウンドケーキとともに販売した。濃い紅色をしたミカン「小原紅早生」の珍しさなどにひかれ、多くの保護者たちが買い求めていた。

三年生の高野萌さん（仮）さんは「想像以上にたくさんのお客さんが来てくれた。自分たちが育てたり、開発したりした商品に興味を持ってもらえてうれしい」と笑顔で話していた。

（小佐野慧太）

2022年（令和4年）11月27日（日）中日新聞